

統計資料を分析してロジカルに主張しよう



組 番 名前

【ストーリー】

鳥取県の高校1年生であるAさんは、人口減少から生じる鳥取の問題を解決しようとしている。実際に鳥取駅前フィールドワークを行い、一つの薬局にインタビューした。そこで



「鳥取の商店街は昔と比べて活気がない」

「昔は店内にご老人がたくさん来たが、今は昔と比べると少なくなった」

という言葉聞いた。

そこでAさんは、次のような課題と解決案の方針を立てた。

課題

人が来ないため、鳥取の商店街に活気がない

課題解決の方針

商店街に人が足を運びたくなる工夫をしたら、活気生まれるのではないかな

★Aさんの立場になって考えてみよう。

誰に	いつ・何を・どんなふうに

商店街に足を運んでもらえばいいんじゃないかな？

しかし！どのような具体的な解決案が有効なのか、考えることはできていない！Aさんは、課題の背景にある鳥取県の現状をより深掘りすれば、具体的な解決案を作り出すことにつながると考えた。さらに、Aさんは実地調査を行なったものの、

鳥取県を**統計やデータからロジカルに分析**していないこと

に気がついた。そこで、「鳥取の商店街に人が来ない」こと的背景にはどんなことがあるのかを示すデータを、実際に調べることにした。

【今回のミッション】

- ①統計資料を使って鳥取県の現状を深掘りし、
②課題解決の方針を論理的に納得できるものにしよう！



【ルーブリック】

成果物はこの冊子！

タグ	観点（到達目標）	A	B	C
11	統計的に処理されたデータを考察することができる	自身の主張の根拠に使う2つ統計データについて、以下の①～⑤すべてを正確に記すことができる。 ①調査目的 ②調査対象とその数 ③調査の実施年 ④比較されている項目 ⑤全体の大まかな傾向や、細部の特徴・動き	自身の主張の根拠に使う2つの統計データのどちらか片方だけ、①～⑤すべてを正確に記すことができる。 ①調査目的 ②調査対象とその数 ③調査の実施年 ④比較されている項目 ⑤全体の大まかな傾向や、細部の特徴・動き	自身の主張の根拠に使う2つの統計データ両方について、①～⑤のいずれかが正確に記せていない。 ①調査目的 ②調査対象とその数 ③調査の実施年 ④比較されている項目 ⑤全体の大まかな傾向や、細部の特徴・動き
8	ものごとを筋道立てて考えることができる	課題の周辺調査の中で選んだ2つ以上の統計資料を総合することで、妥当な解決の方針を立てることができる。	課題の周辺調査の中で選んだ1つの統計的なデータから妥当な解決の方針を立てることができる。	課題の周辺調査から統計的なデータを選んでいるが、妥当な解決の方針を立てることができていない。

【今回使う統計資料データベース】※Chromebookで開く

サイト：鳥取県統計資料年鑑(令和4年刊)

URL：<https://www.pref.tottori.lg.jp/309369.htm>

【ウォーミングアップ】

- ★ 統計年鑑のカテゴリを眺めよう
- ★ どれかファイルを選んで、開いて、いろいろな数字に触れよう
- ★ 開いたファイルを記録しよう

カテゴリ名	No.	ファイル名
例 12 鉱業	3	製造業の産業（中分類）別事業所数,従業者数および製造品出荷額等

【使用する統計資料①】

サイト：鳥取県統計資料年鑑(令和4年刊)

URL：https://www.pref.tottori.lg.jp/309369.htm

確認日：_____年____月____日

カテゴリ名	No.	ファイル名

①調査目的

②調査対象とその数

③調査の実施年

④比較されている項目

⑤全体の大まかな傾向や細部の特徴・動き（細部は数字や項目名など具体的にメモしよう）

⑥この統計資料から考えられる課題解決の方針

【使用する統計資料②】

サイト：鳥取県統計資料年鑑(令和4年刊)

URL：https://www.pref.tottori.lg.jp/309369.htm

確認日：_____年____月____日

カテゴリ名	No.	ファイル名

①調査目的

②調査対象とその数

③調査の実施年

④比較されている項目

⑤全体の大まかな傾向や細部の特徴や動き（細部は数字や項目名など具体的にメモしよう）

⑥この統計資料から考えられる課題解決の方針

【方針の組み立て】

統計資料①②の分析を総合して言えることは…

--

★もう一度考えてみよう。根拠は統計資料①②から分析した内容を書こう。

誰に	いつ・何を・どんなふうに
根拠	根拠



商店街に足を運んでもらうことで、商店街の活気はとり戻せる！

【エピローグ】

統計資料を根拠に課題解決の方向性を決められたAさんは、探究仲間のBさん、探究担当のT先生に、さっそくプランを共有した。

「そのためにはこんなアプローチがいいんじゃない？」

「その方向性とアプローチで仮説を立ててみようか」

「どういう結果が出たら仮説を論理的に立証できるかな」

論理的に具体的に課題の周辺状況を示したおかげで、クリアに説明ができ、ディスカッションも盛り上がった。Aさんの探究活動の成果を2024年2月17日のポスター発表で見ることが、BさんとT先生も楽しみになった。

【フィードバック】

ちゃんとロジカれてる??フィードバックをもらおう!

フィードバックしてくれる人→_____

統計資料①の分析について	統計資料②の分析について	方針の組み立てについて
(注) 世帯数と人口の比率から、核家族が増加している?	(注) 女性よりも男性の方が運動する割合が低い →男性の方がブルーオーシャンなのでは?	
エールを贈ろう!		

フィードバックしてくれる人→_____

統計資料①の分析について	統計資料②の分析について	方針の組み立てについて
エールを贈ろう!		

